



島村楽器 サンクスコンサート

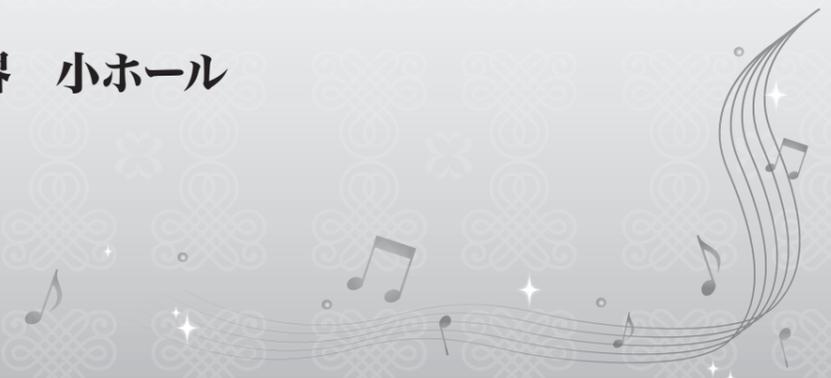
～インストラクターが日頃の感謝の気持ちを込めて演奏します～

PROGRAM

日時 | 2024年7月13日(土) 第1部 12:30 開場 13:00 開演
第2部 16:30 開場 17:00 開演

会場 | フェニーチェ堺 小ホール

 島村楽器



PROGRAM

第1部

協奏的二重奏曲 Op.55 第1楽章 / J.B.サンジュレー

サクソス二重奏:寺澤 美樹、林田 小雪 伴奏:榎本 咲良

演奏会用アレグロ / E.グラナドス

ピアノ:松林 敬子

アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22 / F.F.ショパン

ピアノ:矢野 仁美

バラードと空気の精の踊り / J.アンデルセン

フルート:齋藤 智香 伴奏:岡本 祥主

「鏡」より第4曲 道化師の朝の歌 / M.ラヴェル

ピアノ:藤浦 有花

ハンガリー狂詩曲 第13番 / F.リスト(ヴォロドス編曲)

ピアノ:大野 有咲

バラード 第1番 Op.23 / F.F.ショパン

ピアノ:藤原 麻里菜

アルト・サクソフォンとピアノのための狂詩曲 / C.ドビュッシー

サクソス:舟木 春菜 伴奏:板井 かほり

スペイン組曲 Op.47より グラナダ、カステイーリャ / I.アルベニス

ピアノ:寺木 一希

ピアノソナタ 第3番 Op.14 第4楽章 / R.シューマン

ピアノ:岡本 祥主

シーガル / 真島 俊夫
ラブソディー・イン・ブルー / G.ガーシュイン

サクソス:吉田 隆広 伴奏:藤浦 有花

第2部

ソナティナ《パールサクソス》 第1楽章、第3楽章 / F.フェラン

サクソス二重奏:樋口 真李乃、吉永 尚子 伴奏:永岡 千怜

幻想即興曲 Op.66 / F.F.ショパン
3つの演奏会用練習曲 第3番「ため息」 / F.リスト

ピアノ:長岡 美音子

バラード 第3番 Op.47 / F.F.ショパン

ピアノ:吉武 栄里子

Wonderful Days / 和泉 宏隆

サクソス:山下 航平 伴奏:藤岡 真子

ピアノソナタ 第3番 Op.28「古い手帳から」 / S.プロコフィエフ

ピアノ:田場川 京子

ドゥムカ Op.59 / P.I.チャイコフスキー

ピアノ:貞嶋 佑麻

シンフォニア 第14番 BWV800 / J.S.バッハ
ノクターン 第2番 Op.33-2 / G.フォーレ

ピアノ:木村 美沙子

カルメン・ファンタジー / G.ビゼー
シーガル / 真島 俊夫

サクソス:樋口 真李乃 伴奏:吉武 栄里子

超絶技巧練習曲 第9番「回想」 / F.リスト

ピアノ:林田 彩愛

アレグロ・アパッシヨナート Op.70 / C.サン=サーンス

ピアノ:杉村 優衣

「オペロン」によるグランド・ファンタジー Op.52 / J.A.ドゥメルスマン

フルート:山本 愛美 伴奏:貞嶋 佑麻

ヴァイオリン・ソナタ イ長調 第1楽章、第4楽章 / C.フランク

サクソス:吉永 尚子 伴奏:永岡 千怜

ご挨拶

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は島村楽器株式会社をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

また本日は「島村楽器サンクスコンサート」の会場へのご来場、ならびに配信のご視聴いただき、重ねて御礼申し上げます。

島村楽器は1962年に音楽教室からスタートいたしました。皆さまのご支持をいただき、現在では全国で181店舗を展開させていただいております。創業当時に掲げた理念の1つに「音楽の楽しさを提供し、音楽を楽しむ人を1人でも多く創る」がございます。音楽教室の指導者は、この理念の実現に向けてレッスンを提供させていただいております。その指導者をより多くの方に知っていただきたい、演奏を多くの方へお届けしたいという思いから、「島村楽器 サンクスコンサート」は2018年2月から始まりました。

サンクスコンサートはこれまでに関東で5回、近畿で3回、九州で2回と各地で開催しております。2021年より関東ではコンサートのオンライン配信も行っておりますが、全国から本格的な演奏を視聴できることもあり、毎回ご好評をいただいております。そこで今回、近畿での公演では初めてオンライン配信も行う運びとなりました。サンクスコンサートの開催は今回で11回目となりますが、ここまで開催を続けてこられたのもひとえに皆様のご愛顧の賜物と思っております。

島村楽器のインストラクターは、「良き指導者であり、良き演奏者でもある」ことをモットーに、指導スキルだけでなく演奏力向上のための研鑽を重ねております。当コンサート出演者も普段は全国各地のミュージックサロンでレッスンを担当しておりますが、本日は演奏者として日頃の感謝の気持ちを込めて演奏いたします。

最後になりましたが、「島村楽器 サンクスコンサート」開催にあたり、深いご理解とご協力をいただきました弊社音楽教室会員様、並びにご来場、ご視聴いただいております皆様に心より御礼申し上げます。

どうぞ最後まで「島村楽器 サンクスコンサート」をお楽しみください。

2024年7月
島村楽器株式会社
代表取締役社長 廣瀬 利明

第1部 出演インストラクター プロフィール (楽器別・五十音順)

ピアノ

大野 有咲 Ono Arisa アクアウォーク大垣店

名古屋芸術大学音楽学部演奏学科ピアノコース卒業。パリ・エコール・ノルマル音楽院ディプロマ取得。東京ピアノコンクール、横浜国際音楽コンクールを始め多数のコンクールに入賞。YAMAHA主催ピアノサロンコンサートやセントラル愛知交響楽団KAWAI室内楽シリーズに出演。2023年7月、ソリストとしてピアノ協奏曲を愛知室内オーケストラと共演。ジャンルイ・マンサール氏やマルク・アントワン・パンジョン氏、横山幸雄氏によるレッスンを受講。これまでに服部容子、奥山聡子、中沖玲子の各氏に師事。

岡本 祥主 Okamoto Nagayuki 錦糸町パルコ店

6歳からピアノを始める。東京音楽大学卒業。日本クラシック音楽コンクール全国大会、ローゼンストック国際コンクールなど、数々のコンクールで入賞。「ラ・フォル・ジュルネTOKYO2023」島村楽器ブースにて演奏。これまでに成田絹、相澤絢子、野中正、ピアノデュオを川上昌裕の各氏に師事。

寺木 一希 Teraki Kazuki 仙台泉パークタウンタピオ店

山形大学地域教育文化学部文化創造学科音楽芸術コース卒業。これまでにピアノを上田はま子、小林広美、江川龍二、植木由利子、中畑淳、柴田千賀子、平澤匡朗の各氏に師事。YCMオペラ「ヘンゼルとグレーテル」「オルフェオとエウリデーチェ」ピアニストを務めるなど、各種演奏会に出演。ピアニスト石川奈緒美氏（島村楽器ピアノ科講師）と「Naotera Piano Duo」として活動。会津演奏家連盟会員。

藤浦 有花 Fujiura Yuka 立川店

3歳よりピアノを始め、9歳まで米国で過ごす。第68回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会入選。第16回日本演奏家コンクール高校Aの部第1位、併せてショパン賞、横浜市長賞受賞。多摩フレッシュ2017ピアノ部門優秀賞受賞、2018年にソロリサイト開催。桐朋学園ランチタイムコンサート2019-2020in表参道に出演。桐朋女子高等学校（男女共学）を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。中学校・高等学校教諭一種免許状（音楽）取得。これまでにポーリン・マルティン、齋木隆の各氏に師事。

藤原 麻里菜 Fujiwara Marina イオンモール堺北花田店

京都市立京都堀川音楽高等学校、大阪音楽大学演奏家特別コース卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第15回宝塚ベガ学生ピアノコンクール大学生部門第1位。学内選抜学生による第28回ザ・コンチェルト・コンサートにてザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。中学校・高等学校教諭専修免許状（音楽）取得。これまでに沖野恵子、福井尚子、浅井康子、鳥居知行、岡原慎也の各氏に師事。

松林 敬子 Matsubayashi Keiko イオンモール草津店

大阪音楽大学音楽専攻科ピアノ専攻を卒業。中学校・高等学校教諭専修免許状（音楽）取得。在学中から声楽や管楽器の伴奏、室内楽、2台ピアノアンサンブル等の活動も行う。

矢野 仁美 Yano Hitomi あべの and 店

2歳より音楽教室にてピアノを学び音楽力を磨く。国立奈良女子大学附属中等教育学校を経て、同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻鍵盤楽器コース（ピアノ）卒業。学内推薦受け卒業演奏会出演、頌啓会音楽賞受賞。在学時より渡欧しStefan Arnold氏師事のもと研鑽を積む。ウィーン国立音楽大学マスタークラスディプロマ取得、選抜修了演奏会出演。ヤマハヤングピアニストコンサートFinal 3年連続金賞。日本クラシック音楽コンクールピアノ部門全国最高位。

サクソ

寺澤 美樹 Terazawa Miki ららぽーと甲子園店

大阪音楽大学音楽学部器楽学科管楽器専攻卒業。同時に大阪音楽大学卒業演奏会に出演。在学中に第23回ザ・コンチェルト・コンサートオーディションにてサクソソリストとして選出され、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共演。これまでにサクソを前田昌宏、井上麻子両氏に師事、室内楽を西本淳氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状（音楽）取得。関西を中心にジャンル問わず、ライブ活動や演奏会を積極的に行う。

林田 小雪 Hayashida Koyuki ららぽーと和泉店

大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。専門学校でクラシックとビッグバンドを学び、山口マリ氏に師事。在学中にミュージカルのバックバンドやクラシックのコンサート、ジャズストリートと幅広いジャンルの演奏に出演。

舟木 春菜 Funaki Haruna アミュプラザ鹿児島店

佐賀県出身。平成音楽大学卒業。斎藤広樹氏に師事。第50回佐賀県新人演奏会出演。佐賀銀行文化財団賞受賞。

吉田 隆広 Yoshida Takahiro 川崎ルフロン店

東京音楽大学器楽科サクソフォーン専攻卒業。クラシックを中村均氏に、室内楽を石渡悠史氏に、Jazz/Fusionを元T-SQUAREの宮崎隆陸氏に師事。サクソ以外にもエアロフォンやEWI、NuRADといったウインドシンセサイザーも演奏するマルチプレイヤー。アルソ出版から発売中の専門誌「THE SAX」Vol.74～76、Vol.83～85の「人気ナンバー完全攻略レッスン」でWeb動画と連動した誌上レッスン連載。島村楽器公式インフルエンサーとして活動しYouTubeでの動画投稿数は200本以上、多くの視聴者に定評がある。

フルート

齋藤 智香 Saito Chika ビビット南船橋店

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業。山手の丘音楽コンクール第3位。東京国際管楽器コンクール入選。在学中、「オーケストラ協演のタベ」にてソリストとしてJ.イベールの協奏曲でオーケストラとの協演を果たす。日本フルート協会主催第44回フルートデビューリサイト、第21回ヤマハ新人演奏会木管楽器部門、第20回葉山新人演奏会出演。これまでにフルートを鈴木栄里子、千葉純子、井出朋子、細川順三、W.ベルチの各氏に師事。

ピアノ伴奏

板井 かほり Itai Kahori イオンモール熊本店

武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科有鍵楽器ピアノ専修卒業。「風かほるトリオ」を結成し、長崎にてコンサートを開催。これまでに村上加良子、渡辺ゆみこ、岡野壽子の各氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状（音楽）取得。

榎本 咲良 Enomoto Sakura イオンモール大日店

大阪芸術大学演奏学科ピアノコース卒業。同大学卒業演奏会出演。在学中、学内推薦演奏会・ヤマハオータムコンサート等にて出演。2018年ポーランドシレジアフィルハーモニー管弦楽団とコンチェルト共演。第47回和歌山県新人演奏会出演。その際特別奨励賞受賞。これまでに西崎富士子、池原憲子、中村勝樹の各氏に師事。

第2部 演奏曲目解説・出演者よりメッセージ(演奏順)

ソナティナ《**パールサクソ**》**第1楽章、第3楽章**／**F.フェラン**
サクソス二重奏：樋口真李乃、吉永尚子
伴奏：永岡千伶
F.フェランはスペインの作曲家・指揮者。日本では、「キリストの受難」などの吹奏楽曲で知られています。この曲は、スペインの双子のサクソフォン奏者のために書かれ、1997年に世界サクソフォーン・コンGRESで初演されました。3つの楽章それぞれによってカラーが異なり、全く違った印象を受けます。今回は、ロックのようにスリリングな進行の第1楽章とスウィング・ジャズから影響を受けた第3楽章を演奏いたします。

【出演者よりメッセージ】この舞台で演奏させていただけること、とても嬉しく思っております。サクソス2本とピアノによる華やかで楽しい演奏をお楽しみください。

幻想即興曲 Op.66／**F.F.ショパン**
ピアノ：長岡美音子

1834年頃作曲。この曲はショパンの死後、友人フォンタナの手により出版された遺作です。ショパンにしてはシンプルな構成ですが、それでも冒頭から惹きつけられる序章、ポリリズムによって迫りくる主部、異名同音を使った転調により幻想的で儂く、そしてどこか懐かしく響く中間部、など魅力的な仕掛けが曲全体に散りばめられ、現在まで世界中で愛される曲となりました。

【出演者よりメッセージ】本来、即興曲とは自由に作曲されるものでありながら、この曲はショパンが即興曲というものをよく勉強し、考えられて作られたという矛盾を抱えた曲でもあります。そういったところを楽しんでいただけたらと思います。

3つの演奏会用練習曲 第3番「ため息」／**F.リスト**
ピアノ：長岡美音子

1848年頃作曲。リストは技巧派ピアニストとしても有名ですが、ピアノ作品の大半は一線を退いてから作曲されており、この「3つの演奏会用練習曲」も当てはまります。第3曲の「ため息」は、絶えず流れるアルペジオの上に紡がれるメロディーが印象的で、非常に優雅で男性的な色気や甘さを感じさせます。

【出演者よりメッセージ】出版社により「ため息」というタイトルが付けられましたが、中身は大運動会のようなアクロバティックな動きが終始続きます。優雅で華やかに、ショパンとはまた違った魅力の甘美なメロディーをお楽しみください。

バラード 第3番 Op.47／**F.F.ショパン**
ピアノ：吉武栄里子

「バラード第3番」は1841年に作曲され、ノアイユ伯爵令嬢に献呈されました。冒頭の第1主題では、右手と左手の旋律が問いと答えの会話を繰り返すように歌われます。第2主題ではこの曲の特徴となる軽快なリズムが登場し、中間部ではそれぞれの主題を展開させながら転調を繰り返げます。優美さ、激しさ、不穏さなど揺れ動く感情を表現しながら、最後に華々しくテーマが再現され輝かしい響きの中で曲が閉じられます。

【出演者よりメッセージ】高校生の頃に演奏した大好きな曲を今回選びました。ショパンの作曲時と同じ年齢となった今、新しい解釈を加えて皆様に感謝の気持ちを込めて演奏いたします。様々な場面の移り変わりを想像しながらお楽しみください。

Wonderful Days／**和泉 宏隆**
サクソス：山下航平
伴奏：藤岡真子

T-SQUAREデビュー30周年を記念し、歴代のメンバーを再集結させて制作されたアルバムのタイトルチューンで、作曲はジャズピアニストの和泉宏隆氏です。「今まで」と「これから」の日々が素敵だったと言えるように、とといった思いが込められているのではないかと私自身は感じる曲です。心地良いサウンドをお届けしたいと思います。

【出演者よりメッセージ】インストラクターとして10年、ひとつの節目の年に出演ができることに喜びを感じています。会員様、スタッフ、皆様へ感謝の気持ちを込めて演奏いたします。

ピアノソナタ 第3番 Op.28「古い手帳から」／**S.プロコフィエフ**
ピアノ：田場川京子

ウクライナ出身のプロコフィエフはピアニストである母にピアノの手ほどきを受け、5歳で作曲を始め10歳で交響曲を作曲する天才児でした。この曲はプロコフィエフがサンクトペテルブルク音楽院作曲科在籍中の習作を1917年に改作したため「古い手帳から」という副題が付けられています。ソナタと言っても単一楽章で構成、形式はソナタ形式ではありますが、再現部には第1主題と第2主題がなく、推移部が再現される変則的な構造となっています。対位法、多調的な処理がなされている他、打楽器的な奏法や全音階使用など、古典派やロマン派にはない奏法や表現が取り入れられています。

【出演者よりメッセージ】私自身プロコフィエフの作品に取り組むのが20年以上ぶりということもあり、とても新鮮な気持ちで勉強してきました。作曲当時のロシア革命の激しさを思わせる「嵐のように、荒れ狂うような」打楽器を激しく叩く表現や、光が差した穏やかに澄んだ音色など多彩な表現となっています。特に多声的で様々なパートが入り組むフレーズも特徴的です。プロコフィエフならではの重厚な響きをお楽しみください。

ドゥムカ Op.59／**P.I.チャイコフスキー**
ピアノ：貞嶋佑麻

「ドゥムカ」とは、ゆっくりとした哀歌の部分とテンポの速い明るく楽しい部分の急激な交代を特長とするもので、スラブ地域の民謡を代表しています。チャイコフスキーはこの作品に「ロシアの農村風景」という副題を付けていて、タイトルは“哀歌”と訳されることも多いです。この時代の、奴隷のように扱われた農民の苦しみや怒り、かすかな希望を表現したと思われる物語性を感じる作品です。

【出演者よりメッセージ】この作品に込められた想いや情景が伝わるよう、一音一音大切に演奏したいと思います。

シンフォニア 第14番 BWV800／**J.S.バッハ**
ピアノ：木村美沙子

シンフォニアは、バッハ(1685-1750)が長男のために教材として作曲した小品をまとめ直したものです。3つの旋律がそれぞれ独立して動くことが特徴で、中声部は左右の手で分担して演奏します。14番は穏やかで気品に満ちた曲想で、転調を繰り返しながら進み、後半はテーマの旋律が畳みかけるように次々登場します。2分ほどの短い曲ですが、バッハの作曲技法がぎゅっと詰まった作品です。

【出演者よりメッセージ】バッハとフォーレは、作曲家であり教会のオルガニストでもあったという共通点があります。二人の曲を本日一緒に演奏できることがとても嬉しいです。ぜひお楽しみください。

ノクターン 第2番 Op.33-2／**G.フォーレ**
ピアノ：木村美沙子

フォーレ(1845-1924)はフランス近代を代表する作曲家で、ラヴェルの師匠でもありました。出だしは、鐘の音を連想させるような美しい旋律から始まりますが、中間部は一転してやや白熱し、左右の手がせわしなく交差します。旋律に非和声音(和音から外れた音)が重ねられていることで、フォーレらしい独特の浮遊感や緊張感、洗練された雰囲気を感じられます。

【出演者よりメッセージ】今年、フォーレは没後100年のアニバーサリーイヤーを迎えました。素敵なお曲を遺してくれたフォーレに感謝しながら心をこめて演奏します。

カルメン・ファンタジー／**G.ビゼー**
サクソス：樋口真李乃
伴奏：吉武栄里子

カルメン・ファンタジーは、G.ビゼーが作曲した歌劇「カルメン」の有名なメロディーが次々に登場します。カルメンの舞台となっているはスペインのセビリアです。

【出演者よりメッセージ】学生の頃に出会ったカルメンの音楽をいつかステージで演奏したいと願っていたので、本日演奏できることを心から嬉しく思っています。情熱的なスペインの音楽をお届けできればと思います。

シーガル／**真島 俊夫**
サクソス：樋口真李乃
伴奏：吉武栄里子

真島俊夫作曲の「シーガル」は、日本のサクソス奏者の中でも大変人気のある作品です。人が生きていくうえでの悲しみ、あるいは切なさを描いている曲です。

【出演者よりメッセージ】「シーガル」は、とても美しいメロディーラインが特徴的です。日頃の感謝の気持ちを込めて演奏させていただきます。どうぞお楽しみください。

超絶技巧練習曲 第9番「回想」／**F.リスト**
ピアノ：林田彩愛

フランツ・リストが15歳(1826年)の頃に第1稿《すべての長短調による48の練習曲》を作曲し、1851年第3稿で《超絶技巧練習曲集》を完成させました。第1稿の時点で第9番「回想」のテーマはほぼ完成していたことから、リストが生まれながらにして抒情性を持っていたことがわかります。

【出演者よりメッセージ】リストが持つ美しい色彩が、皆様を皆様の思い出の中に誘うことでしょう。皆様のそれぞれの過去を「回想」しながらお聴きいただけると幸いです。

アレグロ・アパッショナート Op.70／**C.サン＝サーンス**
ピアノ：杉村優衣

サン＝サーンス(1835-1921)はフランスを代表する作曲家の一人で、作曲家、ピアニスト、オルガニスト、また指導者としても活躍しました。パリ音楽院における学内コンクールで用いるための曲として書かれた本作品は、テクニカルな要素と抒情的な要素を併せ持っています。古典主義的な明晰さ、ロマン主義的な色彩、華麗さがバランスよく調和しており、サン＝サーンスの音楽の特徴が詰まった1曲になっています。

【出演者よりメッセージ】日々レッスンをしている中で、皆様の音楽に対する熱意や愛情から、音楽家として学ぶことがたくさんあり、やはり音楽は長い旅だな、とワクワクします。音楽が繋ぐ縁に感謝し、心を込めて演奏します。

「オベロン」によるグランド・ファンタジー Op.52／**J.A.ドゥメルスマン**
フルート：山本愛美
伴奏：貞嶋佑麻
ウェーバーにより作曲されたオペラ「オベロン」の主題を元にドゥメルスマンにより変奏曲として作曲されました。オベロンというのはシェイクスピアの「真夏の夜の夢」にも出てくる妖精の王様です。劇中に使われている曲のテーマが様々なバリエーションで登場します。

【出演者よりメッセージ】作曲者のドゥメルスマンはフルートの名手とも言われています。超絶技巧で華やか且つ繊細と言われているこの曲を、私も精一杯演奏させていただきます。

ヴァイオリン・ソナタ イ長調 第1楽章、第4楽章／**C.フランク**
サクソス：吉永尚子
伴奏：永岡千伶

この曲は名ヴァイオリニストへの結婚のお祝いとして作曲され、フランス系ヴァイオリンソナタの最高傑作のひとつと言われており、後に様々な楽器で演奏されています。4楽章からなり、いくつかのモチーフが複数の楽章において現れる「循環形式」という手法が用いられています。本日は、不安や期待、喜びなど様々な感情が現れる第1楽章、輝かしく幸福感に満ち溢れた第4楽章を演奏いたします。色彩豊かで壮大な曲想をお楽しみください。

【出演者よりメッセージ】本日の舞台で演奏できることを大変嬉しく思います。皆様に楽しんでいただけるよう心をこめて演奏いたします。サクソスとピアノによる美しく力強いハーモニーをお楽しみください。

第2部 出演インストラクター プロフィール (楽器別・五十音順)

ピアノ

木村 美沙子 Kimura Misako ミュージックサロン池袋

桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。これまでに山川由希子、若尾佳代、今井彩子の各氏に師事。第1回ジュラ・キシユ国際ピアノコンクール審査員特別賞受賞。第6回エレナ・リヒテル国際ピアノコンクール奨励賞受賞。「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO2023」島村楽器ブースにて演奏。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

貞嶋 佑麻 Sadashima Yuma 岩田屋福岡店

3歳からピアノを始める。洗足学園音楽大学音楽学部ピアノコース卒業。2020年「ピアノコース特別選抜演奏者」認定。第2回同大学学内ピアノコンクール第2位。第62回佐賀県新人演奏会にて音楽協会新人奨励賞受賞。在学中はピアノソロ他、室内楽、伴奏法も学ぶ。これまでに故執行みづほ、鍵沢昌生、江崎昌子の各氏に師事。

杉村 優衣 Sugimura Yui イオンモール京都桂川店

愛媛県出身。5歳からピアノを始める。香川県立坂出高等学校音楽科を経て、京都女子大学発達教育学部教育学科音楽教育学専攻卒業。これまでにピアノを秋山由加里、土居知子の各氏に師事。現在、三木康子氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

田場川 京子 Tabakawa Kyoko ロハル津田沼店

東京都江戸川区育ち。4才から地元の島村楽器に通い始めピアノ、ソルフェージュを学ぶ。武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。在学中より声楽や打楽器の伴奏、吹奏楽団との演奏の中でアンサンブルも学ぶ。卒業後はインストラクターとして稼働する傍らソロや連弾、2台ピアノなどの演奏会出演、バンドライブ出演など幅広く活動。島村楽器主催サンクスコンサートに2018年より出演。クラシックピアノを日高正枝氏に、ジャズピアノを外山安樹子氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。

長岡 美音子 Nagaoka Mineko ミ・ナアラ奈良店

東京音楽大学付属音楽教室・付属高校を経て、同大学音楽学部器楽専攻ピアノ科を卒業。ピティナ・ピアノコンペティション、日本ピアノ教育連盟ピアノオーディションを始め多数のコンクールに入賞。在学中は声楽を中心に様々な楽器の伴奏やピアノアンサンブルの経験も積む。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得。これまでに三浦捷子氏、松本あす香氏、川上昌裕氏に師事。現在は関西や出身の栃木県を中心に演奏活動を行う。

林田 彩愛 Hayashida Sae ららぽーと甲子園店

武庫川女子大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。同大学音楽専攻科器楽専攻ピアノコース修了。第31回兵庫県独唱独奏コンクールピアノ部門金賞。第19回KOBEL国際音楽コンクールB部門優秀賞。第27回日本クラシック音楽コンクール全国大会ピアノ部門大学女子の部第5位。大学卒業時ピアノ実技成績最優秀者に与えられる井上直幸記念音楽賞を受賞。武庫川女子大学音楽学部第58回新人演奏会、第60回関西新人演奏会に出演。

吉武 栄里子 Yoshitake Eriko 梅田ロフト店

大阪府出身。同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻鍵盤楽器コース(ピアノ)卒業。在学時より管楽器、弦楽器、声楽のピアノ伴奏や室内楽を経験し、現在に至るまで多数のコンクールや演奏会に出演。ヤマハ演奏・指導グレード4級、中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。これまでにピアノを松原敬子、斉藤宏子の各氏に師事。

サクソ

樋口 真李乃 Higuchi Marino 梅田ロフト店

兵庫県出身。3歳からピアノを始め、11歳でサクソスを始める。大阪音楽大学音楽学部音楽学科管楽器専攻卒業。サクソスを井上麻子氏に師事。神戸新人音楽賞コンクール入選。KOBEL国際音楽コンクール入選。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。学生時代から演奏活動を盛んに行う。

山下 航平 Yamashita Kohei 広島パルコ店

広島文化学園大学学芸学部音楽学科サクソス専攻を卒業。同大学卒業演奏会出演。インストラクターとして稼働する傍ら、ミュージシャンのライブにサポート出演、自主企画ライブなど、精力的に活動中。サクソスの勝田一樹氏、小池修氏、元T-SQUAREの安藤まさひろ氏など、第一線で活躍されているミュージシャンとの共演も多岐に渡る。

吉永 尚子 Yoshinaga Shoko イオンモール伊丹昆陽店

大阪府出身。中学生より吹奏楽部でサクソスを始める。大阪音楽大学音楽学部音楽学科管楽器専攻卒業。在学中より様々なイベントや施設での演奏活動を行う。サクソスを飯守伸二氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。Saxophone Quartet Trattoriaメンバー。

フルート

山本 愛美 Yamamoto Manami 岩田屋福岡店

福岡県出身。大分県立芸術文化短期大学卒業。12歳よりフルートをはじめ、第27回日本クラシック音楽コンクール福岡本選にて最優秀賞及び全国大会出場。第19回大阪国際音楽コンクールにてファイナリストに選出。これまでにフルートを萩原貴子、高木綾子、松本優哉、フランツリストワイマール音楽大学教授ウルフ=ディーター・シャーフ各氏に師事。

ピアノ伴奏

永岡 千怜 Nagaoka Chisato くずはモール店

6歳よりピアノを始める。東京音楽大学音楽学部器楽専攻ピアノ科卒業。これまでにピアノを武田真理、渡邊康雄、智内威雄の各氏に師事。中学校・高等学校教諭一種免許状(音楽)取得。第15回兵庫県学生ピアノコンクールA部門金賞。B部門最優秀賞、併せて兵庫県知事賞受賞。第13回ベートン音楽コンクール本選連弾の部最優秀賞、全国大会ベスト10賞。ピアノソロの他、サクソスやトランペット等他楽器の伴奏にも尽力する。

藤岡 真子 Fujioka Mako 広島パルコ店

広島県呉市出身。4歳からピアノを始める。広島音楽高校卒業、エリザベト音楽大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻の特別奨学生として卒業。第66回広島音楽高等学校定期演奏会のソリストとして広島交響楽団と共演。第13回ベートン音楽コンクール自由曲コース大学生A部門全国大会第3位。これまでにピアノを織田直美、小嶋素子、三島良子、小蔦寛二、マーティン・ヒューズ、クラウディウス・タンスキーの各氏に師事。